

2024年度 定時総会の開催報告

2024年度定時総会（開会～閉会経過）



当センターは1984（昭和59）年2月に設立し、本年で40周年という節目を迎えました。

2024（令和6）年6月18日（火）クレオ大阪中央において、「設立40周年記念」2024年度公益社団法人大阪市シルバー人材センター定時総会を開催いたしました。

総会員数7,800名のうち、総会当日は、4,838名（出席者214名、委任状提出者639名、3議案賛成議決権行使者3,985名）の出席となりました。

総会は正会員の今井晶子さんの司会によって進行され、開会にあたって、松山繁樹理事長の挨拶に続き、センター事業に深いご理解を賜り、多年にわたり当センターに対してご発注をいただきました発注者の方々に感謝状の贈呈を行いました。また、坂田洋一大阪市福祉局長の代読により横山英幸大阪市長からのご祝辞をいただき、ご臨席の坂田福祉局長及び河野靖彦福祉局高齢者施策部長、石谷知之いきがい担当課長のご紹介のあと、正会員の眞壁健理事が議長に選出され議案審議に入りました。提出された議案は「2023年度事業報告」「2023年度決算報告及び監査報告」「役員を選任」の3議案で、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、理事会の承認事項の「2024年度事業計画」「2024年度収支予算」の2点について報告されました。定時総会は活発な質疑が行われるなど盛会のうちに閉会しました。

2024年度定時総会理事長挨拶要旨

皆さん、こんにちは、理事長の松山でございます。

会員の皆様方には、設立40周年記念2024年度定時総会に多数ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、本日はご来賓として、公務御多忙にも関わりませず、坂田大阪市長にご臨席を賜っております。心から感謝申し上げますとともに、平素からシルバー人材センター事業に対し、温かいご理解・ご支援をいただいておりますこと、併せて厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市シルバー人材センターは、1984（昭和59）年2月に事業を開始し、本年で満40年になります。

会員数においては、当初の252人から2024（令和6）年3月末には7,795人と31倍となり、契約件数は1,129件から43,474件と約39倍、契約金額は約7,400万円から約25億8千万円と約35倍になっております。

これもひとえに、本日ご臨席賜りました大阪市をはじめとする行政ご当局、関係諸団体各位の温かいご支援、ご協力の賜物と存じます。

同時に、後ほど感謝状を贈呈させていただきますが、センターの趣旨をご理解いただき、多くの仕事をご提供いただきました発注者の皆様方の大きなお力添え、草創期からご貢献いただきました先輩役職員のたゆまぬご努力、そして何よりも親切丁寧をモットーに、真摯に就業に励まれました会員の皆様方の並々ならぬご尽力の賜物であり、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、我が国の少子高齢化は世界に例を見ない速さで進展しており、総人口に占める高齢者人口の割合は、29.1%と過去最高となり、75歳以上人口が初めて2千万人を超えるなど、超高齢社会を迎えており、社会保障費が増大するなか、少子高齢化の進展は大きな社会問題となっております。

このような状況の中で、高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験、技能を活かし、働くことを通じて「福祉の受け手」から「福祉の担い手」として「いきいき」と活

動する社会を築いていくことは、きわめて重要なことであり、今後ますます期待されるところでございます。

センターとしては、「会員の拡大の取り組み」がシルバー人材センターという組織

の活力を示す意味で、最重要の取り組みと位置づけています。

2023年度は、区民まつりに参加しての啓発活動、出張入会説明会の開催に加えて新たに、郵便局広告を活用して会員募集チラシやポスターの掲出などを行い、会員拡大に努めました。

会員の皆様方にもおつれあいやお友達などへのお声かけなどをいただき、少しでも会員の輪が広がることを願うものでございます。

また、「就業の場の確保の取り組み」につきましては、就業開拓コーディネーターを各事務所に配置し、積極的な企業訪問を行うとともに、過去にお取引のあった企業様や既にご契約をいただいている企業様等に対しても、就業人員増のお願いをいたしました結果、契約件数や契約金額は微増となり、ゆるやかな回復傾向となっております。

2024年度も「会員の拡大」と「就業機会の確保」の取り組みを積極的に進めてまいります。

忘れてならないのは「安全就業確保の取り組み」です。「元気に出かけ笑顔で帰ろう いつも心に安全意識」これは大阪市シルバー人材センターの安全標語ですが、2024年度も組織をあげて安全就業対策に取り組んでまいります。

国におきましては、デジタル社会における高齢者の情報格差を解消するために、「デジタル活用支援促進事業」に注力しており、当センターにおきましても、「パソコン講習会」を開催するとともに、ホームページとスマホをリンクさせてショートメールを活用した会員との連絡が可能となるよう、ホームページの改修を予定しており、今後とも社会的に急速に進むデジタル化の波に遅れないよう、積極的に取り組んでまいります。



シルバー人材センター事業は、高齢者の皆様が臨時的かつ短期的な就業につくことを通じて社会参加を進め、自らのいきがいの充実や健康増進とともに、活力ある地域社会への貢献を目指すものとしてますます重要となるものと確信いたしております。

今後とも、高齢者の皆様方が長年にわたって培ってこられた知識や経験・技能を活かし、働くことを通じて「いきいきと活動する社会」の実現を目指して、会員の皆様

方と役職員が一丸となり、力を合わせて事業の推進に努め、活力のある地域社会の構築に寄与してまいり所存でございますので、ご参会の皆様をはじめ会員の皆様方のなお一層のご協力をお願いする次第でございます。

本日は、総会終了後、「設立40周年記念」として健康管理講演会を開催いたしますので、引き続きご聴講いただき、皆様の健康管理の一助としていただければ幸いです。

2023年度事業実績報告

- **会員数（2024年3月末）**
7,795人（対前年－32人、－0.4%）
（男：4,842人、女：2,953人）
- **就業実人員（派遣含む）**
5,468人（対前年－13人、－0.2%）
- **就業率**
70.1%（対前年＋0.1ポイント）
- **契約件数（派遣含む）**
43,474件（対前年－479件）
内訳 } 公共 1,580件（－259件）
 } 民間 41,894件（－320件）
- **契約金額（派遣含む）**
2,584,333千円（対前年＋62,264千円）
内訳 } 公共 460,138千円
 } （－26,569千円）
 } 民間 2,124,195千円
 } （＋88,833千円）

2024年度収支予算

（単位：千円）

項	目	2024年度予算額
経常収益	受託事業収益	1,961,625
	独自・企画提案事業収益	9,656
	労働者派遣事業等受託収益	92,218
	有料職業紹介事業受託収益	60
	介護保険事業収益	19,646
	受取会費	9,825
	受取補助金等	97,400
	その他収益	52
経常収益計		2,190,482
経常費用	事業費	2,125,340
	管理費	65,142
	経常費用計	2,190,482
当期経常増減額		0

2024年度事業計画

1. 就業開拓提供事業
2. 普及啓発事業
3. 研修・講習会事業
4. 相談事業
5. 安全・適正就業推進事業
6. 訪問介護事業
7. 独自事業
8. 職業紹介事業
9. 労働者派遣事業
10. 会員拡大
11. 組織体制の充実強化
12. 財政基盤の拡充

新役員の紹介

新たに就任された役員の方々をご紹介します。

理事長	諫山 保次郎
副理事長	野口 一郎
副理事長	前田 葉子
常務理事兼事務局長	平野 博士
理事	白澤 政和
理事	多田 龍弘
理事	松山 繁樹
理事	虫明 豊美
理事	片岡 孝夫
理事	井上 貞彦
理事	眞壁 健樹
理事	森山 具夫
理事	藤脇 一重
理事	佐伯 道三
監事	木村 秀章
監事	三原 子章
監事	魚住 誠一

（順不同）

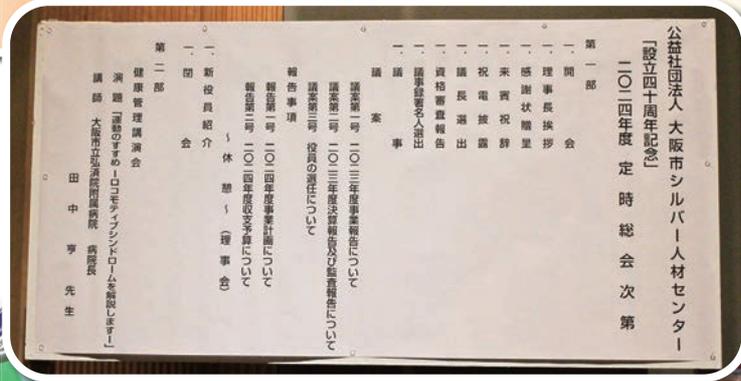
退任役員紹介

長年にわたってセンターの運営にご尽力賜りました次の役員の方が退任されました。

副理事長 矢田貝 キサ卫 様



「設立40周年記念」2024年度定時総会風景



健康管理講演会



定時総会終了後に「設立40周年記念 健康管理講演会」を開催し、日本整形外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会臨床認定医としてご活躍されておられます、大阪市立弘済院附属病院 病院長の田中亨先生に「運動のすすめ - ロコモティブシンドロームを解説します -」と題してご講演いただきました。

講演の内容は、

- ◎ロコモティブシンドローム（以下、「ロコモ」という。）の定義（ロコモとは病気そのものではなく骨・軟骨・筋肉・神経などの障害により移動機能の低下を起こした状態）についての説明
- ◎「ロコモの評価と予防」（ロコモの自己チェック方法、ロコモ度テストによるロコモ度判定とロコモ予防のための運動、ロコモ度と身体的フレイルの関係）



講師 田中 亨先生

- ◎「ロコモの栄養」（ロコモ予防・改善に重要な栄養など）
- ◎「ロコモと脊柱管狭窄症」

などについて、パワーポイントを使用し、また、実際のレントゲン写真やMRI 画像などを用いて大変わかりやすくご説明をいただきました。

また、講演終了後の質問時間では、参加された会員の方から積極的に様々な質問があり、先生からは詳細かつ丁寧なご回答をいただき、大変有意義な講演となりました。



講演会風景